



▲ 応接室のような落ち着いた雰囲気のを待合室

高性能画像診断で 地域の医療機関との

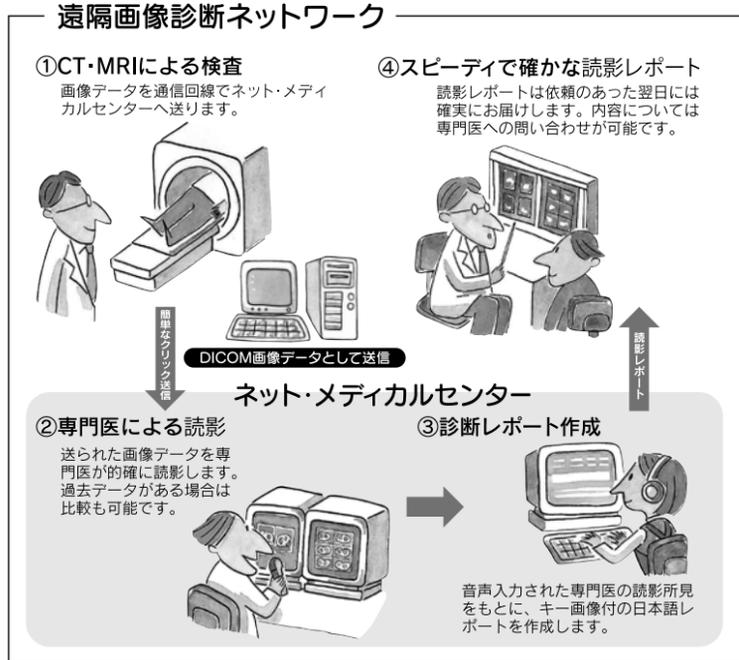
迅速かつ確実に健康チェック 連携で高質な健診・人間ドックを提供

九州画像診断クリニック

確実な診断と納得いく説明を

「九州画像診断クリニック」では、こうしたネットワークによって、より確実な診断を可能にしているわけだが、人間ドックの診断結果については、矢野院長自身が直接本人へ詳しい説明を実施している。

「他の病院を経由していないので、患者さんにきちんと理解してもらえないよう、平易な言葉で基本的なところか

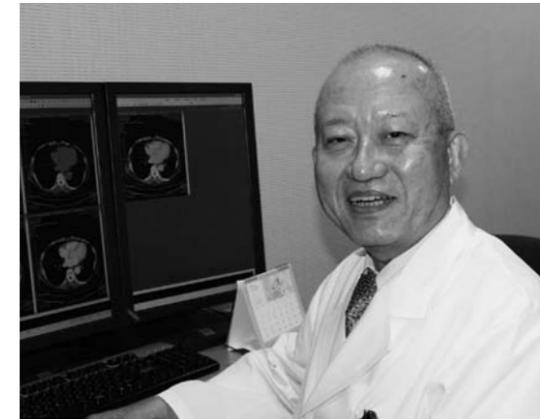


にしている。

また、通常の健診において、エコー診断などで異常が出た場合、2次健診としての画像診断を受託するケースもある。人間ドックの場合も、2次健診の場合も、結果、対処が必要な場合には、その医療機関に画像データを送ることもできる。矢野院長は「同じ検査を2度せずに済むので、患者さんの負担も減り、政府が進めている医療費の削減にもつながる」という考えだ。

ら説明する。かなり時間もかかるが、『話を聞いて初めて分かった』という感想をいただくことも多い（矢野院長）という。

人間ドックについて矢野院長は「最初に受診されるのは定年前後の年齢で、以後、定期的に受けられるケースが多い。年に1度受診すれば十分だろう」と語る。もちろん診断の結果、治療が必要な場合は、専門の病院を紹介、紹介状も出すよう



矢野文良院長
(放射線科専門医)

磁力やX線、超音波を利用して、がんや炎症、出血、血管の病気などを、身体を傷つけず早期に発見できる画像診断は、医療現場で年々重要性を増している。

福岡市天神の「九州画像診断クリニック」は2004年3月、九州電力グループの医療サポート会社による開業支援を受けて設立した画像診断専門の検査機関。他の医療機関からの検査受託のほか、企業の健康診断や人間ドックにも対応しており、年間約6000件の画像診断をこなしている。

放射線科の専門医である矢野文良院長は「医療現場では画像診断による判断が主流で、装置を備えている大学病

同クリニックでは、高性能のMRIとCTを備え、矢野院長と技師3人、看護師2人のスタッフが、検査・診断に当たっている。検査依頼の当日、もしくは翌日までは検査が可能という「迅速さ」と診断の「正確さ」「わかりやすさ」が最大の特徴だ。

画像診断については、まず矢野院長がすべての画像をチェックする。そして、難解な症例に対しては(株)ネット・メディカルセンター(九電グループ)の遠隔画像診断システムを利用し、他

院や大型の病院では2週間待ち、1カ月待ちが普通。特に天神周辺には装置を持たない小規模なクリニックも多く、患者さんに迅速な医療サービスができていく環境だった」と開設の経緯を語る。

▲ 最高磁場強度(1.5T)のMRI(磁気共鳴画像装置)



▲ 最高磁場強度(1.5T)のMRI(磁気共鳴画像装置)

全体で58名の医師が所属し、九州・沖縄地区の医療機関計180カ所と遠隔画像診断ネットワークを構築、ここ福岡県下では、九州大学放射線科の専門医を中心とする同センター勤務医が、「九州画像診断クリニック」をはじめ県内66カ所の契約医療機関の画像診断を行っている。

九州の180医療機関と連携

ネット・メディカルセンターは、放射線科の専門医集団であり、医師対医師の画像コンサルテーションを通じて画像医療を支えている。

の放射線科専門医の意見を踏まえた上での診断を行う。このように複数の医師で2重チェックを行うことにより診断の精度を高めている。

▲ 短時間で高品質な撮影が可能なマルチスライスCT



▲ 短時間で高品質な撮影が可能なマルチスライスCT

九州画像診断クリニック

<http://www.kyusyu-idc.com>

診療科/放射線科、内科
院長/矢野文良

〒810-0001 福岡市中央区天神1-14-16三栄ビル1F
TEL/092-737-4830 FAX/092-737-4831
診療/9:00~18:00(月~土) 休診/日曜、祝日
契約駐車場/綾杉駐車場 TEL/092-751-1310

